

関係各位

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

平成29年度病虫害発生予察特殊報第1号を送付します。

---

平成29年度病虫害発生予察特殊報第1号

- 1 病名 トルコギキョウ斑点病
- 2 病原菌名 *Pseudocercospora eustomatis*
- 3 発生作物 トルコギキョウ

4 発生経過

平成28年4月に高知県東部の施設トルコギキョウほ場において、葉に灰～黒褐色の斑点症状を生じる株が多数確認された（写真1）。本病原菌について、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、*Pseudocercospora eustomatis*であることが確認された。

なお、本病については、平成29年1月に福岡県で特殊報が発表されている。

5 病徴

葉に5～20mm程度のすす状の灰～黒褐色斑点が形成される（写真2、3）。病斑は下位葉から上位葉へと進展し、葉の表、裏両面に発生する。なお、本病は夏期の高温期を除き、春から秋にかけて多湿条件下で多発する。

6 防除対策

- 多湿条件下で発生するので、換気や加温による除湿を十分に行う。
- 病勢が進展すると防除が困難となるので、発生初期に発病部位を除去するなど、適切な防除を行う。
- 罹病株の残渣は伝染源となるので、ほ場外に持ち出して適切に処分する。

（参考）本病に対する登録農薬はないが、他の作物で *Pseudocercospora* 属菌による病害に登録があり、花き類にも登録がある農薬は、ファンタジスタ顆粒水和剤、トップジンM水和剤、トリフミン水和剤、ダコニール1000、アフェットフロアブルがある。



写真1 斑点病の症状



写真2 斑点病の病斑

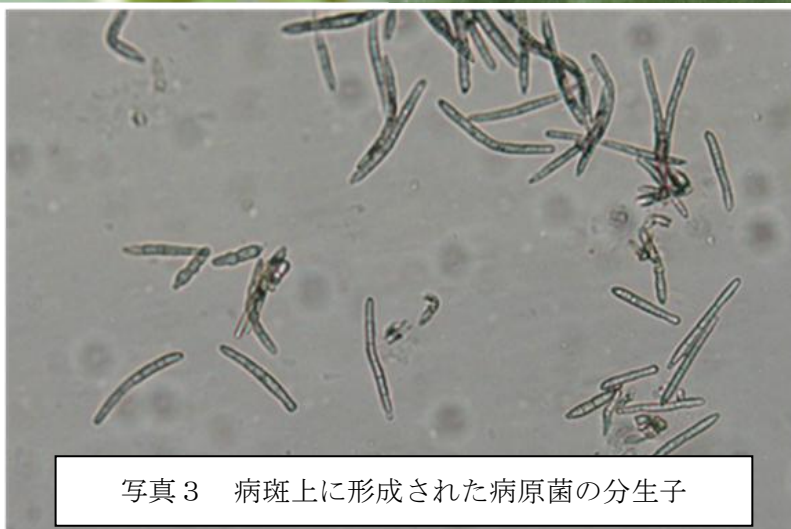


写真3 病斑上に形成された病原菌の分生子